

危険!

圧雪や凍結で路面はツルツル。冬の踏切は危険がいっぱい。

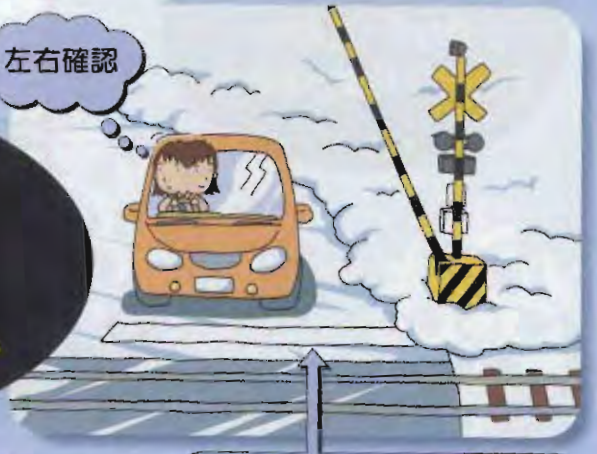
冬の踏切に注意

早くブレーキを踏んで止まる



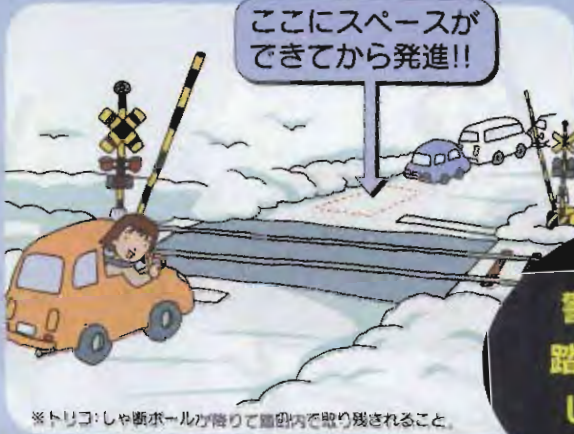
踏切に入る手前では必ず一旦停止、自分の目と耳で安全を確認してください。

左右確認



- 停止線のある場所では、停止線の直前
- 停止線のない場所では、踏切の直前 (しゃ断ボールの手前)

ここにスペースができてから発進!!



※トリコ：しゃ断ボールが降りて踏切内で取り残されること。

先づまりのときは、警報器が鳴っていなくても踏切に入らないでください。しゃ断ボールが降りてきてトリコになってしまいます。

クレーン車のブーム、ダンプの荷台を上げたまま踏切に入ると電車線を切断し、感電の恐れがあります。

2万ボルト

感電注意



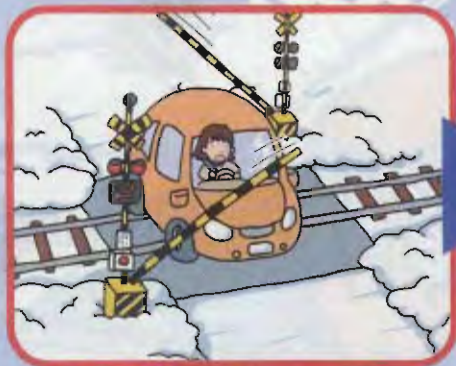
毎月23日は「踏切の日」

JR北海道

踏切でのトラブル対処法

冬は滑りやすく特に危険！早めのブレーキとスピードダウンで

もし踏切で閉じこめられたら、そのまま車を進めて脱出してください

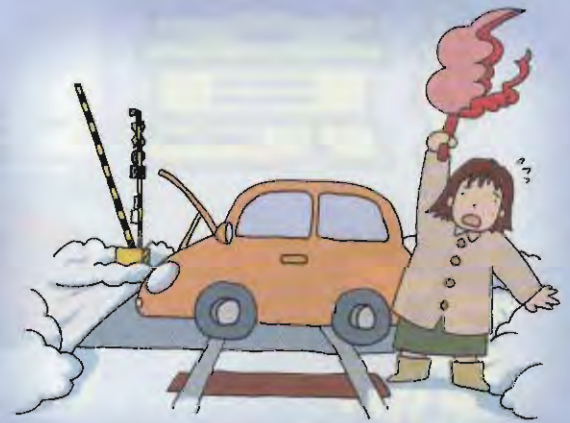


しゃ断ポールは折れずに斜めにあがります。すぐに脱出してください。

しゃ断ポールが降りきってから、約15秒で列車が来ます。



もし踏切で車が動かなくなったら、非常ボタンか発炎筒で列車を止める手配をしてください。



踏切を列車が通過するときのメカニズム



急ブレーキをかけてから列車が完全に停止するまで約600m



列車が来るまで

警報機が鳴り始めてから……約30秒後
しゃ断ポールが降りきってから……約15秒後

警報機が鳴り、しゃ断ポールが降り始めた時に踏切内でトラブルが発生すれば、残された時間は極めて短いのです。